

令和8年度

学 力 向 上 プ ラ ン
【後期】

上尾市立原市中学校

上尾市立原市中学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

- 「自ら学び考える生徒」
- 「心豊かでたくましい生徒」
- 「心身ともに健康な生徒」

学校課題研究主題

「主体的にねばり強く何事にも
取り組む児童生徒の育成」

～つながりを大切にした小中一貫教育～

学力・学習状況調査の結果

R8 全国学力・学習状況調査

平均正答率において、国語は1.1ポイント上回り、数学は3ポイント下回り、英語では0.5下回っている。国語では特に「書くこと」が全国平均より2.6ポイント下回り、思考力判断力表現力の内容に課題がある。数学では特に「データの活用」が全国平均より6.1ポイント、思考力判断力表現力の領域では5.8ポイント下回っており課題が明らかとなった。英語では特に、聞くこと0.1、読むこと書くこと0.4下回っている。IRTスコアから、全国平均に近いことが分かった。

R8 埼玉県学力・学習状況調査

1年生の国語は県平均正答率を0.3ポイント下回っており、特に「情報の扱い方、我が国の言語文化」が0.8ポイント上回っている。数学は県平均正答率を0.6ポイント下回っており、特に「図形」が1.7ポイント下回っている。2年生の国語は県平均正答率を1.7ポイント上回っており、「情報の扱い方、我が国の言語文化」が1.7ポイント低く、課題がある。数学は県平均正答率を0.6ポイント下回っており、特に「データの活用」が2.8ポイント低く、課題がある。英語は県平均正答率を0.4ポイント下回っている。3年生の国語は県平均正答率を4.2ポイント下回っている。数学は県平均正答率を2.2ポイント下回っており、英語は県平均正答率を4.2ポイント下回っている。

R7 上尾市立小・中学校学力調査

1 学年国語の平均正答率64.9、言語文化に関する領域が全国平均より6.4下回っている。数学は54.5、図形の領域が全国平均より5.6下回っている。英語は53.1、書くことの領域が全国平均より3.3下回っている。
2 学年国語の正答率スコア69.2、情報の扱いに関する事項が全国平均より9.2下回っている。数学は52.4、すべての領域が全国平均を上回っている。英語は50.4、昨年度は49.7であった。読むことに関する領域が全国平均よりも2.6下回っている。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得

- ①基礎的・基本的な知識を習得する力
- ②基礎的・基本的な技能を習得する力

思考力・判断力・表現力等の育成

- ③内容を正しく理解する過程で働かせる思考力・判断力・表現力
- ④自分の考えを整理して記述する力
- ⑤自分の考えを整理して発表する力

学びに向かう力・人間性等の涵養

- ⑥自ら調べたり、先生に聞いたりして、学習に粘り強く取り組む力
- ⑦学習の計画を立てたり、学習内容を振り返ったりする力

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得

- 授業規律の徹底
正しい言葉遣いでの発表や全員が耳を傾ける雰囲気づくり、授業の開始終了の挨拶をしっかりと行わせる。
- 確認テスト等の実施
基礎・基本の定着のため、授業の始めや単元が終わるごとに確認テストを行う。

思考力・判断力・表現力等の育成

- 話し合い活動の実施
自分の考えをもとにしてペア、少人数グループ等の学習活動を実施し、内容を整理したり思考を深めたりする。
- 思考を深める授業展開の実施
教員間の相互授業参観、校内授業研究会を行い、思考を深める授業について教員間の情報交換を行う。

学びに向かう力・人間性等の涵養

- 教室や廊下の掲示物の充実
学習成果を可視化し、学びを深める。互いを認め合う温かい雰囲気づくりを行う。
- 定期テスト学習計画の作成
テストに向けて計画的に学習に取り組ませる。
- 個々への支援充実
課題やつまづきに基づく肯定的な支援を行う。

本校の特色ある取組

- 小中一貫教育の推進
- ICT タブレット端末の活用（毎日持ち帰り）
- 補充学習の実施
- 好ましい人間関係の構築
- 学習環境と授業規律
- 数学の計算力等、基礎学力向上の取組
- 特別支援学級生徒の社会性向上の取り組み
- 「あじみこし改革」 あいさつ、時間、身だしなみ、言葉遣い、姿勢

家庭教育との連携

- 自己調整学習の推進
- 教育活動の情報発信、さくら連絡網の活用
- 学校 HP の更新

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①基礎的・基本的な知識を習得する力 ②基礎的・基本的な技能を習得する力	③内容を正しく理解する過程で働かせる思考力・判断力・表現力 ④自分の考えを整理して記述する力 ⑤自分の考えを整理して発表する力	⑥自ら調べたり、先生に聞いたりして、学習に粘り強く取り組む力 ⑦学習の計画を立てたり、学習内容を振り返ったりする力



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、②、④	①②毎授業、最初の5分を使って漢字の学習や基礎的な文章読解を行い、基本的な知識技能の習得・定着を図る。 ④単元を通して自分が考えたことや感じたこと、実体験から言えることを考え、まとめる時間を毎時間授業に取り込む。	
社会	①、③、④	①③単元ごとに「学習した知識・技能を実際の社会問題や現実的な文脈の中で『活用』し、自らの考えを表現・解決させる課題や小テストを行い、基礎的知識の定着及び思考力・判断力・表現力を育成する。 ④様々な課題に対して自他の考え方を大切にしながら、社会的事実をもとにして自分の意見を表現する取組を実施する。	
数学	②、③	②週に1回程度、朝学習の時間を設け、基本的な問題に取り組む時間を設ける。 ③小グループでの学び合い活動の時間を設け、お互いに問題を理解できているか確認する。	
理科	①、②、④	①②小テスト、または、パフォーマンステストを行い、基礎的な知識や技能の定着を図る。 ④実験・観察のレポート作成を通して、考察する力や表現する力を身に付ける。	
外国語	①、②、⑤	①②定期的に、小テスト(単語テスト)やパフォーマンステストを実施し、基礎・基本の定着度を確認する。 ⑤グループワークを積極的に取り入れ、自分の考えを伝え、他者の考えも取り入れ学びを深める。	

音楽	②、⑤	②実技テストを１人ずつあるいはペアで行い、リズムなど基礎的な学習の理解度を確認する。 ⑤ペアあるいは小グループ活動を取り入れ、感じたことや表現したい思いを自分の言葉で相互に伝え合ったり、音楽で表現させたりする。	
美術	②、⑤、⑦	②ＩＣＴの効果的な活用を通して、資料の配布を個別最適に行い、個人の課題に対して解決策を選択できるように支援する。 ⑤表現と鑑賞を往還する学習過程を実施することで実感を伴った造形的な見方・考え方を整理して表現できるように指導する。 ⑦ポートフォリオの活用を通して、個人の学習の振り返りや次時への見通しを持たせ、学びや気づきを明確化できるよう指導する。	
技術	①、②、④、⑦	①②製作や実習等、体験的な学習活動を通して、基礎的・基本的な知識や技能を習得する。 ④レポートやスライドの作成により、考えをまとめ、表現する力を身に付ける。 ⑦ワークシート等で振り返りをするにより、「思考のプロセス」や「隠れたつまずき」を正確に把握する。	
家庭	①、②、③、⑦	①③授業で使用するプリントを通し、学習内容の定着及び習得状況を確認する。 ②実技を充実させ完成度を高め、学習意欲を向上させる。 ⑦振り返りを行い、個々のつまずきに応じた技術支援の習得を目指す。	
保健体育	②、④	②運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、運動を豊かに実践できるようにする。 ④自らの考えや課題を言葉で表し、気づき、改善できるよう学習カードにまとめることができるようにする。	
特別の教科 道徳	①、②	① 毎学期一回の道徳朝会の実施を通して、道徳的価値について全校で考える時間を共有する。 ②感動を与えられるような魅力的な教材の収集に努め、考え議論する道徳の授業を展開する。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

(2) 教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組

○小中一貫教育の取組	・学校課題研究「主体的に粘り強く何事にも取り組む児童生徒の育成～つながりを大切にした小中一貫教育～」の研究を推進する。 ・小学校の教員による中学校の授業見学、中学校の教員による小学校の授業見学を実施する。 ・小中一貫教育の在り方について、小中合同研修会を実施する。 ・6年生を対象に部活動の様子を見学する機会を設定する。 ・中学校の教員による学校説明会を実施する。
○ICT タブレット端末の活用	・毎日の持ち帰りを実施する。
○補充学習の実施	・定期テストに向けて、学年職員による補充学習を実施する。
○好ましい人間関係の構築	・行事等の取組の中で生徒に一人一役を与え、自己存在感や達成感、充実感を味わわせてリーダーを育成し、学年経営を充実させる。また、育成したリーダーをクラスでも生かし、学級経営を充実させる。 ・生徒に自己決定の場を与える。また、行事等を活用して生徒に自己存在感を与え、共感的人間関係を育成する（自己指導能力育成の三留意点）。 ・日常的生活記録ノートのやりとりを通して、教師と生徒の信頼関係を構築する。 ・人権学習に取り組み、人権を尊重した教育を行う。
○学習環境と授業規律	・毎週金曜日に「教室整備の日」を設定して自分のロッカーと机の中を整理整頓し、身の回りの環境を整える。 ・「原市スタンダード」を全教員、生徒が実践し、規律ある授業づくりに取り組む。 ・無言ひざつき清掃を実施する。
○数学の計算力等、基礎学力向上の取組	・週一回程度、数学科による計算問題への取組や、各教科による確認テスト等を実施する。
○特別支援学級生徒の社会性向上の取組	・一人一役で当番活動に取り組み、最後までやり遂げさせる。 ・将来の自立を目指した日常生活での技能・体力の向上を目指す。 ・授業や行事での交流学級生徒との交流を通して社会性の向上を図る。
○「あじみこし改革」	・あいさつ、時間、身だしなみ、言葉遣い、姿勢について意識して取り組む。

家庭教育との連携

○自己調整学習の推進

○教育活動の情報発信

○学校 HP の更新

・デジタル教材の活用

・全家庭にシラバスを配布する。(配信メール、学校 HP)

・保護者会や学年・学級通信等による家庭学習の啓発。

・定期テスト学習計画表を作成・実行し、振り返りまで見届ける。

・学級・学年・学校からの通信の発行、学校HP・さくら連絡網を活用した情報発信を行う。